

3. シーツ交換のようなものはない

特に大きいのが、1つ目の家賃の問題です。みなさんが入居するであろう学生宿舍の一般单身改修棟の家賃が月額 19,410 円であるのに対して、筑波大学周辺の家賃の平均相場は 4.5 万円程度ですから、**2 倍強**ということになります。更に、宿舍では負担する必要が無かった電気・ガス・水道代を払う必要もあり、特にガス代が高騰している昨今ですから、家賃と合計すると 6 万円前後 / 月になってもおかしくありません⁹。

しかし、これでも東京で一人暮らしをすることを考えれば、段違いに良い環境と安いコストで生活することができます。また先程の家賃もかなり差がありますので、もっと安く抑えることは難しくありません。

結局のところ、**負担するコストと得られるメリットを天秤**にかけ、みなさん自身がこれだ！と思う選択をしていただければ良いかなあと思う次第です。

10.3. 筑波大学周辺の地理と特徴

さてここからは、そんな筑波大学周辺のアパート事情について、エリア別にざっくりと紹介していきましょう。

10.3.1. 天久保 3 丁目

筑波大学至近の、「華のあまさん」。大学会館を挟んで東の「表天三」と西の「裏天三」に分けられます。特に表天三は、生物学類生の通う第二エリアにも近く、コンビニや飲食店もほどほどにあり、きれいな新築物件も多い**最人気**のエリアです。生物学類生も多く住んでおり、筆者の友達もここに住んでいる人が多いです。一方、家賃の相場はやや高めな印象。

10.3.2. 天久保 4 丁目

天久保三丁目とは東大通りを挟んで東側に位置するエリア。大学からは少し遠ざかる一方、スーパーやドラッグストア、コンビニが近く、**家賃の相場も天三よりは安め**。範囲が狭く、特筆すべきことがあまりないエリアでもあります。筆者はここに住んでいます。

10.3.3. 天久保 2 丁目

天久保三丁目から大学を挟んで南に位置するエリア。家賃相場は天三に比べると安め。飲食店が多い地域で、**落ち着いたエリアではありませんが**、別に女の子が一人暮らしをしても問題ないくらいなので不安がることは無い¹⁰(はず)。

10.3.4. 桜

生物学類生のアパ暮らし勢は、ほとんどが先の天久保エリアかここ桜エリアに住んでいます。スーパー・ドラッグストア・百均がエリア内にあり、美味しい飲食店が多いエリアです。天久保エリアと違って一戸建ても多く、全体として**落ち着いた印象**。家賃の相場はそこそこ。

9 電気をよく食うデスクトップ PC を使う、洗い物に必ずお湯を使う、湯船にしっかりお湯を張って風呂に入る、と言ったことをすると ...。

10 自明に深夜の治安は悪いです